

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課			
	目	下水道総務費	連絡先	(078)918-5048			
	事業	一般管理事務事業	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、明石市公共下水道運営審議会規則			
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託			指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	全市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	下水道のしくみや必要性を理解し、下水道を正しく使用する。

事業内容	①「下水道」は、健康で文化的な生活を営むために大切な施設である。市民生活に欠かすことのできない大きな役割を担っている「下水道」の課題や取組をPRするため、9月の下水道週間に、「下水道展」を実施する。 【下水道展の開催状況】 平成23年度：平成23年9月10日開催 参加者 1,600人 平成24年度：平成24年9月15日開催 参加者 1,500人 平成25年度：平成25年9月14日開催予定 参加者見込み 1,500人	
	②学識経験者や市民の代表者等を交え、下水道の計画や下水道使用料の適正化について審議する「明石市公共下水道運営審議会」を開催する。 【審議会の開催状況】 平成23年度 1回 平成24年度 2回 平成25年度見込み 1回（これに加え、施設見学会を開催） ③下水道事業に携わる職員の資質向上を図るため、各種講習会、研修等へ下水道部職員を派遣する。 ④下水道事業の推進や下水道関係団体の活動の支援等を行っている、日本下水道事業団、日本下水道協会、下水道研究会議に加入し、総会や理事会、研修会等へ参加する。 ⑤企業会計を導入するために必要となる会計システムの構築、固定資産の評価業務等を行う。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	118,609	41,020	159,629	0	0	138,657	20,972	正規	4.40	パート	0.00
24当初予算	189,151	40,580	229,731	0	0	186,000	43,731	再任用	0.30	その他	1.00
24決算	137,114	40,580	177,694	0	0	159,096	18,598	任期付	1.00	合計	6.70
25当初予算	202,962	42,840	245,802	0	0	180,015	65,787				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	公共下水道運営審議会委員報酬	178		報酬	公共下水道運営審議会委員報酬	494
旅費	研修等旅費	91	需用費	下水道週間PR用事務用品等	457		
需用費	下水道週間PR用事務用品等	312	委託料	企業会計システム導入ほか委託料	20,000		
負担金補助及び交付金	各種会費負担金	1,202	負担金補助及び交付金	各種会費負担金	1,516		
公課費	消費税	135,289	公課費	消費税	180,015		
その他		42	その他		480		
合計			137,114	合計			202,962

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-001	事務事業名	一般管理事務事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	「下水道展」への参加者数	下水道事業の必要性を市民へPRするためにおこなっている「下水道展」への参加者数を成果指標とする。	人	1,600	1,500	1,500
	「明石市公共下水道運営審議会」の開催状況	公共下水道に関する重要事項を審議する「審議会」の開催状況について、効率的事業運営の成果指標とする。	回	1	2	1
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本下水道事業団、日本下水道協会、下水道研究会議等の研修会に参加することにより、最新の技術レベルを保つことができると同時に、効果的な情報収集ができています。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・水循環における「下水道」の役割等への関心と理解を深めるため、引き続きPRを進めていきたい。 ・今後も最小の経費での運営を目指し、経費節減に努めていく。 ・引き続き、各種研修及び講習会等に参加することにより、技術の向上を図っていく。 ・下水道事業に対する地方公営企業法適用のための移行事務を進める。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	下水道使用料徴収事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 002			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費							
	項	下水道事業費	連絡先		(078)918-5049				
	目	下水道総務費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度	
	事業	下水道使用料徴収事務事業	根拠法令・要綱等		下水道法・明石市下水道条例				
施策分野		実施方法			直営		補助・助成		その他
				5 都市基盤整備分野		5-6 下水道の整備		委託	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市内の公共下水道を利用する者。
	意図（どういう状態にしたいのか）	下水道事業における財源を確保し健全な経営をめざす。

事業内容	①公共下水道管に接続し、新たに下水道を利用する者に対して、下水道使用料を賦課する。 ②公共下水道を使用する者から下水道使用料を賦課・調定・収納する。 ③排除汚水（井戸水・工業用水等）の使用者調査及び排除汚水量の認定、収納を行う。 ④排除汚水認定企業を立ち入り検査し、配管設備・メータ確認を行い、申告書等について説明・指導を行う。 ⑤下水道使用料の重複支払等における過誤納金の還付、充当処理を行う。 ⑥下水道使用料の減免対象者（生活保護者、独居老人、災害等による被災者等）の調査・認定を行う。 ⑦下水道使用料の滞納者の徴収及び整理を行う。 ⑧財政計画の執行状況の調査・分析を行う。 ⑨水道部との協定書により業務委託（検針・収納・コンピュータシステム処理業務等）を実施。	
------	---	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	147,681	19,090	166,771	0	0	172,644	-5,873	正規	2.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	144,591	19,170	163,761	0	0	92,104	71,657	再任用	0.30	その他	0.00
24決算	144,862	19,170	164,032	0	0	168,087	-4,055	任期付	0.00	合計	2.50
25当初予算	143,784	19,280	163,064	0	0	66,048	97,016				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	15		需用費	事務用品、各種帳票印刷等	134
負担金補助及び交付金	水道部への使用料徴収負担金	142,457	負担金補助及び交付金	水道部への使用料徴収負担金	141,650		
償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	2,390	償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	2,000		
合計			144,862	合計			143,784

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-002	事務事業名	下水道使用料徴収事務事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	徴収実績	下水道使用料の徴収実績	千円	4,961,297	4,891,483	4,998,000
	指標で表せない成果					

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>本事業は、下水道事業の根幹をなす収益事業である。</p> <p>使用料の徴収方法は水道料金との一括徴収であり、徴収業務については民間委託を行っているため、一層の効率化が図られている。</p> <p>本事業は、下水道事業を行う上で中心的な財源となっており、今後も健全な経営を持続するため、下水道料金の見直しについて検討し、また、滞納整理の強化に努める。</p>					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	受益者負担金賦課徴収事務事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 003				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費									事業所管課
	項	下水道事業費			連絡先	(078)918-5049					
	目	下水道総務費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度			
	事業	受益者負担金賦課徴収事務事業			根拠法令・要綱等	東播都市計画事業明石市下水道事業受益者負担に関する条例					
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備						委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』										

事業の目的	対象（誰を・何を）	下水道が整備される区域内の土地所有者、または土地に対する権利者。									
	意図（どういう状態にしたいのか）	公共下水道に係る下水道事業に要する費用を回収し、事業費負担を軽減する。									

事業内容	①新規下水道管布設工事計画について地元説明会を行い、受益者負担金を賦課、調定・収納事務を行う。 ②下水道管布設計画に伴い受益者及び受益地の認定。 ③賦課した受益者負担金の請求・督促・催告・収納事務を行う。 ④滞納者宅を訪問し、納付指導及び徴収業務を行う。 ⑤受益者負担金の減免・徴収猶予申請書について調査等事務処理。 ⑥受益者負担金の猶予地解除に伴う賦課台帳更正及び調定・請求等事務処理。 ⑦電算処理入力データ送付・データ打ち出し等に伴う変更等処理依頼。 ⑧法務局への調査、資産税課との連絡調整。										
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,112	13,690	14,802	0	0	12,529	2,273				
24当初予算	1,530	14,140	15,670	0	0	1,530	14,140	正規	1.40	アハハ	0.00
24決算	1,767	14,140	15,907	0	0	13,395	2,512	再任用	0.70	その他	0.00
25当初予算	1,830	16,600	18,430	0	0	1,830	16,600	任期付	1.00	合計	3.10

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	受益者負担金一括納付報償金		1,113		報償費
	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	526		需用費	事務用品、各種帳票印刷等	619
	償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	128		役務費	郵便振替手数料	1
					使用料及び賃借料	説明会会場借上料	10
					償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	200
	合計		1,767		合計		1,830

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-003	事務事業名	受益者負担金賦課徴収事務事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	徴収実績	受益者負担金の徴収実績	千円	36,207	44,631	26,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>下水道普及率が99.3%（H25.4.1）に達しており、今後、負担金を賦課する区域は私道関係や調整区域が多くなる。対象者への十分な説明及び理解を深めるためには、下水道部内における各課の協力を仰ぎ、積極的に対応していく必要がある。</p> <p>徴収猶予額が341,784,071円（H25.4.1）あり、農地転用等により平成24年度で16,759,002円の猶予解除が発生している。開発等により猶予解除すべき箇所を確実にを行うためには、猶予調査の実施及び対象者への説明を積極的に行う必要がある。</p> <p>下水道事業の財源として重要な地位を占める事業であるため、現行のまま継続する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		安全衛生委員会事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 004		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	下水道事業費		連絡先	(078)918-5048				
	目	下水道総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度		
	事業	安全衛生委員会事務事業		根拠法令 ・要綱等	労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	下水道部職員								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	作業手順の遵守と安全行動を実践し、公務災害が起きない職場をつくとともに、健康管理の充実と健康づくりを促進し、心と体の健康を保つ。								
事業 内 容	①下水道部事業場安全衛生委員会を開催する。 【安全衛生委員会の開催状況】 平成23年度 12回 平成24年度 12回 平成25年度見込み 12回								
	②下水道部事業場の安全衛生活動として産業医による職場巡視、安全衛生委員による安全パトロールを実施する。 【産業医巡視及び安全パトロールの実施状況】 平成23年度 4回 平成24年度 4回 平成25年度見込み 4回								
事業 内 容	③事故のない安全で快適な職場環境づくりを推進するため、下水道部内において、酸素欠乏等危険作業特別教育講習会及び市民救命士講習会を実施する。 【酸素講習会及び市民救命士講習会の実施状況】 平成23年度 18名 平成24年度 18名 平成25年度 20名								
	④作業現場での事故防止のため、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習会に派遣する。 【酸素・硫化水素危険作業主任者技能講習会の実施状況】 平成23年度 5名 平成24年度 6名 平成25年度 6名								
事業 内 容	⑤作業中の感染事故防止のため、破傷風予防接種を行う。 【破傷風予防接種の実施状況】 平成23年度 19名 平成24年度 20名 平成25年度見込み 21名								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	184	3,230	3,414	0	0	0	3,414	正規	0.10	ｱｼﾞﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	231	3,220	3,451	0	0	0	3,451	再任用	0.70	その他	0.00
24決算	176	3,220	3,396	0	0	0	3,396	任期付	0.00	合計	0.80
25当初予算	231	3,210	3,441	0	0	231	3,210				

24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	部内研修用図書等		24		旅費
	委託料	破傷風予防接種委託	28		需用費	部内研修用図書等	27
	負担金補助及び交付金	講習会参加費	124		委託料	破傷風予防接種委託	49
					負担金補助及び交付金	講習会参加費	139
	合計		176		合計		231

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-004	事務事業名	安全衛生委員会事務事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	部内の事故発生件数	安全衛生の推進のための活動の効果が表れれば事故が減少する。	件	1	1	0
	酸欠講習会及び市民救命士講習会の参加者数	職員の安全意識を高め、災害の無い安全で快適な職場環境づくりを推進する。	名	18	18	20
	指標で表せない成果					
・毎月開催の安全衛生委員会等を通して、職員の心と体の健康づくりを促進している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・引き続き、安全かつ快適な職場環境の下で職員が心身ともに健康な状態で業務に従事できるよう、事業を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	貸付金・助成金事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 005		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	水洗便所普及奨励費	連絡先	(078)918-5049				
	目	水洗便所普及奨励費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	事業	貸付金・助成金事務事業	根拠法令・要綱等		明石市水洗便所改造資金等助成規則 明石市水洗便所改造資金等貸付条例			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託	指定管理				
5-6 下水道の整備								

事業の目的	対象（誰を・何を）		
	下水処理開始日から3年以内に、水洗トイレに改造または浄化槽を廃止して公共下水道に切り替える者。（助成金） 水洗便所改造資金として貸付金を必要とする者。（貸付金）		
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）		
	下水道事業の推進を図り、住民の快適な住環境をめざす。		

事業内容	①水洗便所助成金・水洗便所改造資金貸付金申請に基づき、審査及び決定に関する処理事務を行う。 ②水洗便所助成金・水洗便所改造資金貸付金の交付等の事務処理を行う。 ③水洗便所改造資金貸付金収納事務を行う。 ④水洗便所改造資金貸付金の滞納整理業務を行う。 ⑤生活保護世帯水洗便所改造に関する補助手続き業務を行う。 ⑥排水設備申請に伴う助成金・貸付金に関する事項について、関係各課との調整業務を行う。 ⑦共同排水設備申請に関する審査及び助成金交付事務を行う。									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	5,002	7,100	12,102	0	0	6,700	5,402	正規	0.90	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	12,775	7,310	20,085	0	0	12,775	7,310	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	4,802	7,310	12,112	0	0	6,880	5,232	任期付	0.00	合計	0.90
25当初予算	11,275	7,470	18,745	0	0	11,275	7,470				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		役員費	口座振替手数料		2		需用費
	負担金補助及び交付金	水洗便所改造等助成金	1,750		役員費	口座振替手数料	4
	貸付金	水洗便所改造資金等貸付金	3,050		負担金補助及び交付金	水洗便所改造等助成金	4,000
					貸付金	水洗便所改造資金等貸付金	7,200
	合計		4,802		合計		11,275

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-005	事務事業名	貸付金・助成金事務事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	貸付残高	貸付金元金	千円	6,714	5,301	4,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道普及率が99%を超えた現在、未水洗家屋の水洗化が急務となっており、住民の快適な住環境を目指す事業であるため、また、過去に制度を利用した市民との公平性を維持するためにも現行のまま継続する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	長期債元金償還金			新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 006				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容						
	款	公債費									
	項	公債費			事業所管課	下水道部下水道総務課					
	目	元金			連絡先	(078)918-5048					
	事業	長期債元金償還金			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度			
施策分野		5 都市基盤整備分野			根拠法令・要綱等			地方自治法			
		5-6 下水道の整備									
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			実施方法			直営	○	補助・助成	その他
								委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）										
	長期債の元金										
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）										
	償還表に基づき、借入先に償還をおこなう。										
起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、元金の償還をおこなう。											
【長期債元金の償還状況(千円)】											
		償還額	残高								
	平成23年度	4,478,270	64,597,886								
	平成24年度	5,116,115	62,331,172								
	平成25年度(見込)	3,813,000	59,559,472								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	4,478,270	0	4,478,270	0	711,400	2,170,101	1,596,769				
24当初予算	5,116,542	0	5,116,542	0	1,368,400	2,110,415	1,637,727	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
24決算	5,116,115	0	5,116,115	0	1,368,400	2,197,224	1,550,491	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	3,813,000	0	3,813,000	0	0	2,187,283	1,625,717	任期付	0.00	合計	0.00

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	長期債元金償還金		5,116,115		償還金利子及び割引料
	合計		5,116,115		合計		3,813,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-006	事務事業名	長期債元金償還金
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	償還残高	償還金の残高	千円	64,597,886	62,331,172	59,559,472
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還をおこなう。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	長期債利子	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	公債費					
	項	公債費					
	目	利子					
	事業	長期債利子					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道総務課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)918-5048			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
実施方法			根拠法令・要綱等	地方自治法			
				直営	○	補助・助成	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	長期債の利子					
	意図（どういう状態にしたいのか）	償還表に基づき、借入先に償還をおこなう。					
事業内容	起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、利子の償還をおこなう。						
	【長期債利子の償還状況(千円)】 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>平成23年度</td><td>1,675,306</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>1,578,870</td></tr> <tr><td>平成25年度(見込)</td><td>1,474,000</td></tr> </table>		平成23年度	1,675,306	平成24年度	1,578,870	平成25年度(見込)
平成23年度	1,675,306						
平成24年度	1,578,870						
平成25年度(見込)	1,474,000						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,675,306	0	1,675,306	0	0	1,070,911	604,395	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	1,590,000	0	1,590,000	0	0	886,732	703,268				
24決算	1,578,870	0	1,578,870	0	0	954,042	624,828	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	1,474,000	0	1,474,000	0	0	837,010	636,990	任期付	0.00	合計	0.00

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	長期債利子		1,578,870		償還金利子及び割引料
	合計		1,578,870		合計		1,474,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-007	事務事業名	長期債利子
------	----------------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	償還額	償還金の額	千円	1,675,306	1,578,870	1,474,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還をおこなう。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	起債前借及び一時借入金利息			新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 008		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容				
	款	公債費			事業所管課	下水道部下水道総務課			
	項	公債費			連絡先	(078)918-5048			
	目	利息			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
	事業	起債前借及び一時借入金利息			根拠法令・要綱等	地方自治法			
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）	起債前借及び一時借入金利息		
	意図（どういう状態にしたいのか）	償還表に基づき、借入先に償還をおこなう。		
事業内容	○起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、起債前借利息の償還をおこなう。 ○運転資金が不足し、一時借入金の借入をおこなった場合、約定に基づき利息の支払いをおこなう。 【起債前借利息の償還状況(千円)】			
	償還額 平成23年度 0 平成24年度 0 平成25年度(見込) 5,000			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0				
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額				
						償還金利息及び割引料	一時借入金利息	5,000			
	合計		0		合計		5,000				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-008	事務事業名	起債前借及び一時借入金利息
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	償還額	償還金の額	千円	0	0	5,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還をおこなう。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	予備費	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 009			
		分割/統合						
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容					
	款	予備費	事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	予備費	連絡先	(078)918-5048				
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度		
	事業	予備費	根拠法令 ・要綱等		地方自治法			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	下水道事業
	意図（どういう状態にしたいのか）	円滑で機動的な予算執行を可能にする。

事業 内容	年度途中における災害等不測の事態により予算の不足が生じ、補正予算の計上や流用ができない場合、予備費の充当をおこない事業の執行をおこなう。		
	【予算計上と執行の状況(千円)】		
	予算計上	決算	
	平成23年度	5,000	0
	平成24年度	5,000	0(大久保浄化センター維持事業に予備費充当138、 下水道使用料徴収事務事業に予備費充当900)
	平成25年度(見込)	5,000	0

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額	
						24 年度 決算 事業 費 明 細
合計		0	合計		5,000	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-009	事務事業名	予備費
------	----------------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	予備費充当額	事業の計画的な運営を推進すべく予備費の充当額を低くすることを成果指標とする。	千円	0	1,038	0
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・予備費は不測の事態にのみ執行するものとし、必要最小限に留める。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	雨水流出抑制事業	新規/継続	H24休廃止	整理番号	0165001000 - 010		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)918-5048			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	事業	雨水流出抑制事業	根拠法令 ・要綱等	明石市雨水貯留タンク設置助成金交付要綱			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	総合浸水対策計画に基づく、自助・公助による新たなハード対策
	意図（どういう状態にしたいのか）	新たなハード対策として雨水流出抑制施設の整備を推進し、「雨に強いまちづくり・環境にやさしいまちづくり」をめざす。
	事業内容	各家庭での雨水貯留タンクの設置を推進するため、購入費用について助成を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
23決算	1,821	4,370	6,191	911	0	20	5,260	正規	7/11 休	再任用	任期付	その他	合計
24当初予算	2,136	3,180	5,316	1,000	0	36	4,280						
24決算	2,001	3,180	5,181	0	0	76	5,105						
25当初予算													
24 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	25 年度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容	金額						
		負担金補助及び交付金	2,001										
	合計		2,001		合計								

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-010	事務事業名	雨水流出抑制事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	助成件数	助成件数に係る事業効果	件	80	95	/
						/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		河川等改修事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 001		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費	事業所管課	下水道部下水道管理課				
	項	河川費	連絡先	(078)918-5084				
	目	河川費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明		
	事業	河川等改修事業	根拠法令 ・要綱等	地方自治法、明石市法定外公共物管理条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の 目的	対象（誰を・何を）											
	全市民、施設利用者											
意図（どういう状態にしたいのか）												
市内の河川、水路等について、施設利用者や住民の安全を確保し、施設等の適切な維持管理及び生活改善の安全維持に供するため、円滑に効率よく実施する。												

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河川・水路等の維持管理 市内に設置されている延長約480kmのうち約4分の3を占めている市街化区域の水路の維持管理、清掃等の水路機能管理を行っている。また、水路に関係して地元自治会、水利組合等からの要望・苦情等（年間約200件）を受け改修工事を実施している。 ・浸水対策工事 台風及び最近のゲリラ豪雨で浸水被害のあった箇所の対策工事をしており、平成25年度は水路改修、治水目的のゲートの設置などの工事を予定している。平成23年度14件、平成24年度13件の浸水対策工事を実施、平成25年度は10件を予定している。 											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	54,832	17,850	72,682	0	0	0	72,682	正規	2.10	アパ付	0.00
24当初予算	47,657	17,640	65,297	0	0	0	65,297	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	47,029	17,640	64,669	0	0	0	64,669	任期付	0.00	合計	2.10
25当初予算	47,657	17,430	65,087	0	0	0	65,087				

24年度決算 事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度 当初予算 事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	研修旅費等	108		旅費	研修旅費等	167
需用費	設計書印刷、河川管理施設修繕等	358	需用費	設計書印刷、河川管理施設修繕等	384		
委託料	境界確定測量委託	1,782	委託料	境界確定測量委託	1,890		
使用料及び賃借料	コピー使用料	115	使用料及び賃借料	コピー使用料	120		
工事請負費	市内水路維持補修工事	44,606	工事請負費	市内水路維持補修工事	45,000		
負担金補助及び交付金	研修参加費等	60	負担金補助及び交付金	研修参加費等	96		
合計			47,029	合計			47,657

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-001	事務事業名	河川等改修事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
		浸水箇所の軽減	浸水箇所の対策工事の実施件数	箇所	14	13
指標で表せない成果						
市民からの要望・苦情等を迅速に処理することで成果を上げている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市民からの要望等に対して、できる限り早期に対応すると共に管理施設の安全な維持管理に努める。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		河川美化事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 002		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費	事業所管課	下水道部下水道管理課				
	項	河川費	連絡先	(078)918-5084				
	目	河川費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明		
	事業	河川美化事業	根拠法令 ・要綱等	地方自治法、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例、美化事業委託契約(相手方:兵庫県)				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の 目的	対象(誰を・何を)	
	全市民、施設利用者	
意図(どういう状態にしたいのか)		
明石市内の二級河川(7河川)の河川区域の塵芥・雑草等を除去することにより、環境美化と周辺の生活環境の保全を図る。		

事業内容	・二級河川(7河川)の草刈及び塵芥処分	
	明石市内の二級河川(朝霧川・伊川・明石川・谷八木川・赤根川・瀬戸川・清水川)における河川敷きの草刈、塵芥処分を概ね年2回程度実施する予定。平成23年度、24年度は155,000㎡の草刈りを実施、平成25年度についても155,000㎡の草刈りを見込んでいる。	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	10,773	2,550	13,323	7,200	0	0	6,123	正規	0.30	アルバイト	0.00
24当初予算	10,800	2,520	13,320	7,200	0	0	6,120	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	10,778	2,520	13,298	0	0	0	13,298	任期付	0.00	合計	0.30
25当初予算	10,800	2,490	13,290	7,200	0	0	6,090				

24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	事務用品	386		旅費	近接地出張旅費	10
委託料	県管理河川環境整備委託	10,392	需用費	事務用品	398		
			委託料	県管理河川環境整備委託	10,392		
	合計		10,778		合計		10,800

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-002	事務事業名	河川美化事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	環境美化と生活環境の保全	二級河川(7河川)の河川区域の塵芥・雑草等を除去する。	㎡	155,000	155,000	155,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市民の要望に対して、できる限り早期に対応するとともに、環境美化と周辺的生活環境の保全を図る。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		排水路浚渫事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 003		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費	事業所管課	下水道部下水道管理課				
	項	河川費	連絡先	(078)918-5084				
	目	河川費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明		
	事業	排水路浚渫事業	根拠法令 ・要綱等	地方自治法、明石市法定外公共物管理条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						
事業の 目的	対象（誰を・何を）							
	全市民、施設利用者							
	意図（どういう状態にしたいのか）							
地域住民の健全な生活環境を図るため、水路内に堆積した土砂、ヘドロ等を除去し水路の機能回復を行い、治水対策及び生活環境の向上を図る。								
事業内容	市街化区域内の水路等について、悪臭の原因となるゴミや流水を阻害している土砂等の除去を地元自治会等から要望を受けており、平成23年度は90件、平成24年度は113件、平成25年度は130件の処理を見込んでいる。また、梅雨や台風時期及び、降雨が予想される時には、事前にパトロールを行い、市内のスクリーン(27箇所)の清掃を行っている。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	22,481	5,100	27,581	0	0	0	27,581	正規	0.60	アルバイト	0.00
24当初予算	30,000	5,040	35,040	0	0	0	35,040	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	29,803	5,040	34,843	0	0	0	34,843	任期付	0.00	合計	0.60
25当初予算	30,000	4,980	34,980	0	0	0	34,980				

24年度決算 事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度 当初予算 事業費明細	区分（節）	内容	金額
		工事請負費	排水路浚渫工事		29,803		工事請負費
	合計		29,803		合計		30,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-003	事務事業名	排水路浚渫事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	治水対策及び生活環境の向上。	地域住民の健全な生活環境を図るため、水路の浚渫を図る。	箇所	90	113	130
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
複断面化を推進することで、将来の経費削減に取り組むと共に、当面は従前の手法で生活環境の向上に努める。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	管渠維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 004				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費							
	項	下水道事業費							
	目	下水道維持費							
	事業	管渠維持事業							
事業所管課		下水道部下水道管理課							
連絡先		(078)918-5084							
自治/法定		自治事務	開始年度	不明					
根拠法令・要綱等		下水道法(3条)(23条)							
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
	5-6 下水道の整備			委託	<input type="radio"/>	指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）	下水道管渠等施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	生活環境の維持と水質保全のため、下水道管渠施設を常に良好な状態で使用できるよう適正な維持管理を行う。

事業内容	事業内容	下水道管渠等施設の構造的安全性を保つために、日常的なパトロールを実施し、老朽管の調査、修繕を行っていくことによって機能性の確保を行う。平成24年度には発注工事により275枚、緊急対応により452枚の計727枚の人孔蓋取り替えを行っている。(平成23年度は計812枚の実績、平成25年度は計718枚の見込み)また、下水道台帳の整備をおこない、デジタル化を充実させることにより、施設管理の効率化・高度化を図り、的確な情報提供に努め、市民サービスの充実を図る。
-------------	-------------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	166,283	89,250	255,533	0	0	191,561	63,972	正規	7.50	アルバイト	0.00
24当初予算	178,390	67,200	245,590	0	0	178,390	67,200	再任用	1.00	その他	0.00
24決算	165,637	67,200	232,837	0	0	182,163	50,674	任期付	1.00	合計	9.50
25当初予算	173,589	68,250	241,839	0	0	173,589	68,250				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	維持管理用消耗品、管理施設修繕料等	5,182		5,588	需用費	維持管理用消耗品、管理施設修繕料等
役務費	下水道賠償責任保険等	530	807	役務費	下水道賠償責任保険等	807	
委託料	汚泥処分委託料等	11,743	18,244	委託料	汚泥処分委託料等	18,244	
工事請負費	管渠施設維持管理工事等	124,903	126,600	工事請負費	管渠施設維持管理工事等	126,600	
原材料費	人孔鉄蓋	22,492	21,500	原材料費	人孔鉄蓋	21,500	
その他		787	850	その他		850	
合計			165,637	合計			173,589

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-004	事務事業名	管渠維持事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	人孔蓋の緊急度1及び2の施設について緊急対応または、計画的に取り換える	委託により、調査した人孔蓋を評価し、緊急度の高い施設より、順次やり替えを行う。(発注工事+単価契約)	枚	812(327+485)	727(275+452)	718(268+450)
	台帳システムの整備	台帳システムによる、部内業務の支援と維持管理業務の一元化を図り日常業務の効率化と市民サービスの向上を図る	m	7,606	10,351	10,000
指標で表せない成果						
人孔蓋の取替えにより、一時的豪雨などに対して蓋の浮き上り防止や、住民の人孔への落ちこみを防止し、市民の安全確保を図れる。また、窓口に来る市民に対して、台帳システムによる説明を、わかりやすく伝えることができ、事務作業の効率を図れる。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
老朽化した人孔鉄蓋の改築については、長寿命化計画を策定する事で、交付金を有効に活用し継続的かつ計画的に推し進める。管渠内の光ケーブルにし渣が絡み、管閉塞を起こす事例が頻発しているため、巡視点検を強化し、機能維持に努める。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	水洗便所普及事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	水洗便所普及奨励費	事業所管課		下水道部下水道管理課		
	目	水洗便所普及奨励費					
	事業	水洗便所普及事業	連絡先		(078)918-5089		
		自治/法定					
				根拠法令・要綱等		下水道法 第11条の3 第10条	
		実施方法					
				個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	

事業の目的	対象（誰を・何を）	水洗化の促進
	意図（どういう状態にしたいのか）	奨励方法・内容を充実し、効率よく効果を上げる。 周辺環境の改善のため、100%の水洗化を図る。

事業内容	①広報活動	水洗化工事に係る具体的な手続きや方法等について、日頃から住民に対し積極的に周知・普及活動を実施する。「広報あかし」に下水道に関する記事を掲載する。
	②水洗普及指導員による奨励（再任用職員1名 シルバー人材センター派遣1名）	水洗化への奨励については、2名の水洗普及指導員により、戸別訪問・文書送付等を行い、繰り返し指導をしている。 留守宅については、休日にも指導を行い、水洗化率（平成23年度96.3%、平成24年度96.5%、平成25年度96.6%見込み）の向上を図る。 （勤案件数は、平成23年度約4,800件、平成24年度約4,600件、平成25年度見込み4,400件）
	③私道における公共下水道布設制度のPR	私道における公共下水道布設可能箇所について、整備促進を図るため、積極的に地元説明会等を開催する。
	④新設取付管の設置	取付管が布設されていない宅地に対して、500㎡まで1箇所公費で布設する工事を実施している。
	⑤取付管設置位置調査の業務委託	取付管設置位置調査・私道における既設管状況調査・年末年始等緊急対応業務委託を行うことにより、業務の効率化を図り、水洗普及の促進に資する。
	⑥未水洗管理システム ソフトウェアメンテナンス業務委託	未水洗家屋について基本情報データを入力し、台帳を作成する。台帳に基づき水洗化の確認及び水洗化の普及奨励等を行い、その結果をデータとして入力し、次回の戸別訪問のための資料として活用している。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	93,512	24,150	117,662	0	90,700	22,169	4,793				
24当初予算	93,971	44,000	137,971	0	89,200	2,385	46,386	正規	3.50	アパ付	0.00
24決算	93,373	44,000	137,373	0	69,200	43,432	24,741	再任用	4.00	その他	0.00
25当初予算	93,526	45,250	138,776	0	89,200	2,163	47,413	任期付	1.00	合計	8.50

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地出張旅費	5		25	旅費	近接地出張旅費
需用費	事務用品、各種帳票印刷等	658	658	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	616	
役務費	自動車損害共済分担金	11	11	委託料	取付管設置位置調査業務委託等	5,410	
委託料	取付管設置位置調査業務委託等	5,186	5,186	工事請負費	取付管設置工事	87,400	
工事請負費	取付管設置工事	87,398	87,398	その他		52	
備品購入費	排水設備管理システム用PC	115	115				
合計			93,373	合計			93,526

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-005	事務事業名	水洗便所普及事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	水洗普及事業による水洗化率の推移	水洗化済人口/水洗可能人口×100	%	96.3	96.5	96.6
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
概ね現状の規模、手法の維持を基本に、改造義務者との信頼関係を深め、よりよい勧奨事業を行っていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	水質指導事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度	
	事業	水質指導事業		根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例			
施策分野	5 都市基盤整備分野	5-6 下水道の整備	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	公共下水の水質 公共下水道接続事業場等
	意図（どういう状態にしたいのか）	浄化センターで行われる水質浄化に係る処理(水処理)について、水質調査等を通して水処理工程の現状を把握し、良好な状態を維持しながら不良状態にならないよう未然防止に努めている。また、水処理トラブル時には浄化センターとの共同作業で適正な水処理状態に回復させ、運転コストが高まらないようにしながら公共用水域への放流水が規制基準を遵守するよう努めている。水処理トラブルの原因にもなる水質汚染が想定される市内公共下水道接続事業場が、常に排除基準以下の水質で排水されるように指導している。
事業内容	<p>下水道法第21条に基づく水質検査として、毎月2回浄化センターに入る流入水及び放流水の精密検査及び評価を実施。合流式下水道の放流水質改善を図るため、年複数回、ある一定条件における雨天時水質検査及び評価を実施。</p> <p>水処理工程の現状把握のため、簡易項目による日常調査及び運転操作の変更等の助言を実施。</p> <p>水処理工程の状況把握のため、4浄化センターにおいて処理別に詳細項目による工程調査及び評価を実施。</p> <p>水処理工程の経時変化の状況把握のため、年4回、2時間毎に流入水や放流水等の通日調査、統計処理及び評価を実施。</p> <p>兵庫県播磨灘周辺自治体で検討会を実施中の豊かな海づくり構想の実現のため、二見浄化センターで実施している栄養塩管理運転の特別水質調査、現状解析及び運転変更指示等により、栄養塩を主とした水質のコントロールを実現。</p> <p>大久保浄化センター敷地内井戸水の灌漑用水利用のため、塩素イオンの水質検査を適宜実施。また、処理水の親水性用水として活用できるかをみるため、水質検査を年1回実施。</p> <p>その他、必要に応じて各種水質調査及び発生原因の特定や善後策の検討を実施。</p> <p>下水道法及び明石市下水道条例に基づく届出受理、審査及び指導事務を実施。</p> <p>下水道法に基づく特定事業場を中心に不定期に立入水質検査、状況確認及び排水指導を実施。</p> <p>排除基準超過事業場に、適正な維持管理方法及び排除基準遵守の指導を実施。</p> <p>土壌汚染対策法の指定を受けている下水道法上特定事業場の照会や相談業務を実施。</p> <p>環境保全協定に基づく締結事業場の指導、相談及び事前協議や審査を実施。</p>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	6,827	30,030	36,857	0	0	7,801	29,056	正規	2.10	パート	0.00
24当初予算	7,238	29,570	36,808	0	0	0	36,808				
24決算	6,602	29,570	36,172	0	0	7,200	28,972	再任用	1.00	その他	0.00
25当初予算	8,616	20,960	29,576	0	0	0	29,576	任期付	0.05	合計	3.15

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	分析関係消耗品及び試薬他	1,857		25年度	旅費	近接地旅費
役務費	分析機器廃棄手数料、公用車損害共済負担金他	45	需用費	分析関係消耗品及び試薬他	2,050		
委託料	事業所立入時採水分析他	3,435	役務費	分析機器廃棄手数料、公用車損害共済負担金他	145		
備品購入費	水質分析備品等	1,231	委託料	事業所立入時採水分析他	4,254		
負担金補助及び交付金	下水道試験方法説明会参加費	18	備品購入費	水質分析備品等	2,100		
その他		16	その他		37		
合計			6,602	合計			8,616

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-001	事務事業名	水質指導事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	事業場立入調査実績	市内公共下水道接続事業場に対して不定期に立入調査を実施することにより、下水道排除基準の遵守を徹底させていく。	件	107	114	100
	下水道排除基準超過事業場指導実施後の改善率	下水道排除基準超過発覚後の指導による基準遵守状態への回復の度合いを数値化。 超過後回復件数/基準超過件数×100	%	50	50	60
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・水処理工程の水質検査及び評価を頻繁に行うことにより、水処理工程の不良化を未然に防ぎ、継続して非常に良好な放流水質を維持し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全に大きく貢献している。 ・不定期に行う事業場への立入水質調査等により、市内事業場における下水道水質事故は発生しておらず、有害物質等の異常流入水を未然に防ぐことに貢献している。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>当事業のうち、各浄化センターの水質に関する検査や調査においては、状況を総合的に把握し、適正かつ効率的な把握方法の検討を行う。</p> <p>また、下水道法に基づく特定事業等への規制業務は、本来下水道処理場で処理が不可能なものを規制する上で重要であり、継続して実施する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧浄化センター維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 002				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容							
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度			
	事業	朝霧浄化センター維持事業		根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成			その他	
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理				
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』									

事業の目的	対象（誰を・何を）	朝霧浄化センター処理区内348haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理する。

事業内容	① 汚水処理水 : 平成23年度 10,820m ³ 平成24年度 10,177m ³ 平成25年度見込み 10,500m ³
	② 維持管理 : 平成23年度から船上浄化センターにおいて遠隔操作を行い維持管理を行う。
	③ 点検業務 : 日常点検(毎日)計装設備点検(年一回)消防設備点検(年二回)受変電直流自家発点検(年一回)
	④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成
	⑤ 地元対応 : 敷地内に、会議棟、多目的広場を設け近隣自治会に開放している。
	⑥ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	92,400	42,050	134,450	0	0	105,577	28,873	正規	4.42	パート	0.00
24当初予算	97,751	42,040	139,791	0	0	97,751	42,040	再任用	0.20	その他	0.10
24決算	104,330	42,040	146,370	0	0	113,781	32,589	任期付	0.25	合計	4.97
25当初予算	110,970	38,396	149,366	0	0	110,970	38,396				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費等	41,814		需用費	一般消耗品、薬品費等	44,968
役務費	専用回線、火災保険	506	役務費	専用回線、火災保険	516		
委託料	汚泥運搬業務、中央監視制御設備保守点検業務等	28,880	委託料	汚泥運搬業務、中央監視制御設備保守点検業務等	31,471		
使用料及び賃借料	テレビ受信料等	15	使用料及び賃借料	テレビ受信料等	15		
工事請負費	保全工事	32,770	工事請負費	保全工事	33,500		
備品購入費	空気呼吸器等	345	備品購入費	空気呼吸器等	500		
合計			104,330	合計			110,970

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-002	事務事業名	朝霧浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	処理水量にかかる総事業費	処理水量に対していくら費用がかかっているかを見る。	円/m ³	33.0	38.8	39.6
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	1,549	1,695	1,620
指標で表せない成果						
・施設の管理・清掃も適切に行われており、処理場で発生する臭気による市民からの苦情も減少している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含め維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、朝霧浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、施設の統廃合を推進する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度			
	事業	船上浄化センター維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託	○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	船上浄化センター処理区内775haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水と雨水
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理し雨水を速やかに排除する。

事業内容	① 汚水処理 : 日平均 平成23年度 25,371m ³ 平成24年度 23,504m ³ 平成25年度見込み 25,200m ³
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)計装設備点検(年一回)消防設備点検(年二回)受変電直流自家発点検(年一回)
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成
	④ 地元対応 : 地元イベントへの協力。施設内の樹木の剪定。
	⑤ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	237,331	74,440	311,771	0	0	271,177	40,594	正規	7.92	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	259,441	73,960	333,401	0	0	259,441	73,960	再任用	0.20	その他	0.10
24決算	260,730	73,960	334,690	0	0	284,349	50,341	任期付	0.25	合計	8.47
25当初予算	283,236	67,446	350,682	0	0	283,236	67,446				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費等	116,716		需用費	一般消耗品、薬品費等	118,660
役務費	電話回線、手数料、火災保険等	8,483	役務費	電話回線、手数料、火災保険等	10,847		
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	96,084	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	100,841		
工事請負費	機械電気定期保全等	38,762	工事請負費	機械電気定期保全等	51,800		
備品購入費	ウインチ、水中ポンプ等	455	備品購入費	公用車	900		
その他		230	その他		188		
合計			260,730	合計			283,236

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-003	事務事業名	船上浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	30.3	35.1	36.8
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	4,498	4,250	4,600
指標で表せない成果						
・本処理区は合流地域である為、雨水を速やかに排除して、処理区内の冠水防止に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、施設の老朽化が進み更新時期を過ぎている中で、ネットワーク計画の進展状況に合わせた、効率の良い施設整備や維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、船上浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		大久保浄化センター維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 004			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業		事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度			
	事業	大久保浄化センター維持事業		根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-6 下水道の整備			委託	○	指定管理			
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								
事業の目的	対象（誰を・何を）									
	大久保浄化センター処理区内1237haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。									
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）									
	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理する。 下水道に関する展示PR施設として市民に広く周知する。									
事業内容	① 汚水処理 : 日平均 平成23年度 26,201m ³ 平成24年度 26,036m ³ 平成25年度見込み 26,200m ³ ② 点検業務 : 日常点検(毎日)計装設備点検(年一回)消防設備点検(年二回)受変電直流自家発点検(年一回) ③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ④ 地元対応 : 開放施設(せせらぎ水路、グラウンド、会議棟、テニスコート)を設け地元へ開放。樹木の剪定。 ⑤ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)により、大久保浄化センターは第二種エネルギー管理指定工場である。毎年1%のエネルギーを低減させることが義務付けられており、目標達成のためには、機器更新の際にも省エネを考慮する必要がある。 ⑥ 広報活動 : 見学者の受け入れ実施。									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	287,183	56,720	343,903	0	0	328,138	15,765	正規	5.52	パート	0.00
24当初予算	299,576	58,105	357,681	0	0	299,576	58,105	再任用	0.60	その他	0.50
24決算	287,321	58,105	345,426	0	0	313,348	32,078	任期付	0.25	合計	6.87
25当初予算	309,326	50,406	359,732	0	0	309,326	50,406				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費等	139,139		需用費	一般消耗品、薬品費等	154,342
役務費	電話回線、手数料、火災保険等	1,687	役務費	電話回線、手数料、火災保険等	2,211		
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	98,947	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	112,822		
工事請負費	機械電気定期保全等	45,745	工事請負費	機械電気定期保全等	38,800		
備品購入費	赤外線水分計等	898	備品購入費	デジタルカメラ等	100		
その他		905	その他		1,051		
合計			287,321	合計			309,326

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-004	事務事業名	大久保浄化センター維持事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	処理単価	事業費/処理量	円/m ³	35.2	36.1	37.6
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	7,661	7,591	8,886
指標で表せない成果						
谷八木川の水質改善に役立っている。 せせらぎ水路などを利用して、環境保全や下水道の広報活動に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、通常時は十分機能を発揮できる状態であるが、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含めた維持管理の強化が必要である。 今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、大久保浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、末端の処理施設として、より効率の良い施設整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 005			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	下水道事業費						
	目	下水道維持費						
	事業	二見浄化センター維持事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業所管課	下水道部下水道施設課	連絡先	(078)934-3425			
	5-6 下水道の整備		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	二見浄化センター処理区内1691haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水と雨水（一部地域）
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理し雨水を速やかに排除する。
事業内容	① 汚水処理水量：日平均 平成23年度 35,609m ³ 平成24年度 34,981m ³ 平成25年度見込み 34,200m ³ ② 汚泥焼却量：平成23年度 日平均 65,065kg（フェニックス搬出量、日平均 3,279kg） 平成24年度 日平均 64,077kg（フェニックス搬出量、日平均 2,964kg） 平成25年度見込み 日平均 55,000kg（フェニックス搬出量、日平均 2,550kg） ③ 点検業務：日常点検（毎日）計装設備点検（年一回）消防設備点検（年二回）受変電直流自家発点検（年一回） ④ マニュアル類：大雨対応訓練実施（年一回）、危機管理マニュアル作成 ⑤ 地元対応：硝化抑制運転の試行（豊かな里海、海苔養殖業者からの要望により）。樹木の剪定。 ⑥ 省エネルギー：省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）により、二見浄化センターは第一種エネルギー管理指定工場である。 毎年エネルギーを1%低減させることを義務付けられており、目標達成のためには、機器更新の際に省エネを考慮する必要がある。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	483,606	68,400	552,006	0	0	552,573	-567				
24当初予算	581,711	68,120	649,831	0	0	581,711	68,120	正規	7.32	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	535,693	68,120	603,813	0	0	584,219	19,594	再任用	1.40	その他	0.10
25当初予算	604,435	66,676	671,111	0	0	604,435	66,676	任期付	0.30	合計	9.12

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費等	253,512		需用費	一般消耗品、薬品費等	264,863
役務費	電話回線、手数料、火災保険等	1,839	役務費	電話回線、手数料、火災保険等	1,972		
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	90,172	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	164,174		
工事請負費	機械電気定期保全等	189,810	工事請負費	機械電気定期保全等	172,500		
公課費	重量税等	216	公課費	重量税等	329		
その他		144	その他		597		
合計			535,693	合計			604,435

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-005	事務事業名	二見浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	40	46.3	51.5
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	11407	11,664	12,000

指標で表せない成果

- ・「豊かな海」構想が進められている現状を考慮し、二見浄化センターでは「硝化抑制運転」の試行を続けている。他市に先駆けたこういう取り組みが、明石の地場産業である「のり養殖」の振興に一定の役割を果たしているのではと考える。
- ・市内各浄化センターから発生する脱水汚泥を含め、本浄化センターで焼却処理を行っている。
- ・平成23年度からは魚住清掃工場の廃止に伴い、し尿及び浄化槽汚泥の受入処理を行なっている。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、通常時は十分機能を発揮できる状態であるが、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含めた維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、二見浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、末端の処理施設として、より効率の良い施設整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 006			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度			
	事業	朝霧ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備				委託	指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）								
	朝霧ポンプ場集水区内303haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内12haの雨水。								
	意図（どういう状態にしたいのか）								
	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を朝霧浄化センターに圧送する。								

事業内容	① 汚水圧送 : 日平均 平成23年度 7,893m ³ 平成24年度 7,681m ³ 平成25年度見込み 7,800m ³ ② 維持管理 : 平成23年度から船上浄化センターにおいて遠隔操作を行い維持管理をおこなう。 ③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回) 消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回) ④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成。 ⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。 ⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。								
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	11,509	23,340	34,849	0	0	13,150	21,699	正規	2.54	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	21,096	23,535	44,631	0	0	21,096	23,535				
24決算	13,756	23,535	37,291	0	0	15,002	22,289	再任用	0.10	その他	0.00
25当初予算	20,263	21,708	41,971	0	0	20,263	21,708	任期付	0.11	合計	2.75

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	一般消耗品、処理施設修繕(緊急)等		9,303		需用費
	役務費	建物損害共済基金分担金	156		役務費	建物損害共済基金分担金	171
	委託料	浚渫汚泥最終処分業務等	2,197		委託料	浚渫汚泥最終処分業務等	3,919
	工事請負費	機械電気定期保全等	2,100		工事請負費	機械電気定期保全等	5,200
	合計		13,756		合計		20,263

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-006	事務事業名	朝霧ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	送水量にかかる総事業費	送水量に対していくら費用がかかっているかを見る。	円/m ³	12.1	13.3	15.0
	電力量	年間の総電力使用量	千KWh	471	460	500
指標で表せない成果						
朝霧ポンプ場集水区内(303ha)から排水される汚水を圧送して生活環境を維持している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名 林ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業					
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道維持費					
	事業	林ポンプ場維持事業					
施策分野		5 都市基盤整備分野					
		5-6 下水道の整備					
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』					
事業の目的		対象（誰を・何を） 林ポンプ場集水区内180haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内25haの雨水。					
事業の目的		意図（どういう状態にしたいのか） 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を船上浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。					
事業内容		① 汚水圧送 : 日平均 平成23年度 4,322m ³ 平成24年度 4,159m ³ 平成25年度見込み 4,200m ³ ② 雨水排除 : 日平均 平成23年度 2,807m ³ 平成24年度 1,712m ³ 平成25年度見込み 1,900m ³ ③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回) ④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。 ⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	7,530	23,340	30,870	0	0	8,604	22,266				
24当初予算	15,011	23,535	38,546	0	0	15,011	23,535	正規	2.58	アハハ	0.00
24決算	15,798	23,535	39,333	0	0	17,229	22,104	再任用	0.10	その他	0.00
25当初予算	27,917	22,040	49,957	0	0	27,917	22,040	任期付	0.11	合計	2.79

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		一般消耗品、処理施設修繕(緊急)等		4,131	需用費	
役務費		電話回線、建物損害共済基金分担金	31	役務費		電話回線、建物損害共済基金分担金	32
委託料		計装設備点検、消防設備点検業務等	3,026	委託料		計装設備点検、消防設備点検業務等	3,361
工事請負費		機械電気定期保全等	8,610	工事請負費		機械電気定期保全等	19,300
合計			15,798	合計			27,917

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-007	事務事業名	林ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	19.5	25.9	32.9
	電力量	年間の総電力使用量	千KWh	162	158	200
指標で表せない成果						
林ポンプ場集水区内(25ha)の雨水を排除して、同区内の冠水防止に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	藤江ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 008		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 9 年度		
	事業	藤江ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	藤江ポンプ場集水区内113haに居住する市民、及び同区内から排水される污水。									
意図（どういう状態にしたいのか）										
住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に污水を大久保浄化センターに圧送する。										

事業内容	① 污水圧送 : 日平均 平成23年度 4,193m ³ 平成24年度 3,995m ³ 平成25年度見込み 4,200m ³ ② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回) ③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ④ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、平成22年度から規制対象となった。 機器更新にも省エネを考慮する必要がある。 ⑤ 地元対応 : 大雨時、停電に備え発電機の準備をする。									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	6,607	18,240	24,847	0	0	7,550	17,297	正規	1.58	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	7,073	15,935	23,008	0	0	7,073	15,935	再任用	0.20	その他	0.10
24決算	10,706	15,935	26,641	0	0	11,676	14,965	任期付	0.10	合計	1.98
25当初予算	7,049	14,434	21,483	0	0	7,049	14,434				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	3,865		需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	3,411
役務費	火災保険料等	5	役務費	火災保険料等	7		
委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	630	委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	931		
使用料及び賃借料	発電機賃借	589	工事請負費	機械電気定期保全等	2,700		
工事請負費	機械電気定期保全等	5,617					
合計			10,706	合計			7,049

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-008	事務事業名	藤江ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	汚水量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	16.2	18.3	14.7
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	158	152	185
指標で表せない成果						
汚水や雨水を敏速に排除し清潔な生活環境の維持に役立っている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		谷八木ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 009		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度		
	事業	谷八木ポンプ場維持事業		根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	谷八木ポンプ場集水区内9haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内5haの雨水。								
	意図（どういう状態にしたいのか）								
住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を大久保浄化センターに圧送する。									
住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。									
事業 内容	① 汚水圧送 : 日平均 平成23年度 114m ³ 平成24年度 107m ³ 平成25年度見込み 110m ³								
	② 点検業務 : 日常点検(週一回)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回) 消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)								
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成								
	④ 地元対応 : 大雨時、敷地内に土嚢の準備。エンジンポンプ及び発電機の準備。施設内の樹木の剪定								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	18,542	15,265	33,807	0	0	21,186	12,621	正規	1.58	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	17,734	15,935	33,669	0	0	17,734	15,935	再任用	0.20	その他	0.10
24決算	23,590	15,935	39,525	0	0	25,727	13,798	任期付	0.11	合計	1.99
25当初予算	15,965	14,460	30,425	0	0	15,965	14,460				

24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		処理施設修繕(緊急)、電気料金等		7,456	需用費	
役務費		火災保険料等	7	役務費		火災保険料等	10
委託料		計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	1,479	委託料		計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	2,226
使用料及び賃借料		発電機賃借	81	工事請負費		機械電気定期保全等	8,700
工事請負費		機械電気定期保全等	14,567				
	合計		23,590		合計		15,965

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-009	事務事業名	谷八木ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	汚水量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	813.4	1,013.2	780.1
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	430	419	534
指標で表せない成果						
散気装置や雨水ポンプを利用して、大久保浄化センター放流水と、海水を混合放流することにより、河川の水質改善を図り、ノリの養殖においてノリの成長に良い影響を与えている。汚水や雨水を敏速に排除し清潔な生活環境の維持に役立っている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	江井島ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 010		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 63 年度		
	事業	江井島ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	江井島ポンプ場集水区内126haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を西岡ポンプ場に圧送する。

事業内容	① 圧送汚水量 : 日平均 平成23年度 2,800m ³ 平成24年度 2,712m ³ 平成25年度見込み 2,700m ³
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成
	④ 地元対応 : 施設内の樹木の剪定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	5,639	23,170	28,809	0	0	6,444	22,365	正規	2.49	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	7,399	23,385	30,784	0	0	7,399	23,385	再任用	0.50	その他	0.00
24決算	6,913	23,385	30,298	0	0	7,539	22,759	任期付	0.11	合計	3.10
25当初予算	15,014	22,653	37,667	0	0	15,014	22,653				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	3,039		2,500	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等
役務費	火災保険料等	134	134	役務費	火災保険料等	133	
委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	1,115	1,115	委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	1,827	
工事請負費	機械電気定期保全	2,625	2,625	工事請負費	機械電気定期保全	9,800	
合計			6,913	合計			15,014

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-010	事務事業名	江井島ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	汚水量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	28.1	30.6	38.0
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	157	157	180
指標で表せない成果						
江井島ポンプ場は汚水の圧送を行なっている。近隣住民の快適な生活を確保するために重要な役割を持つ。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	西岡ポンプ場維持事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 011			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費								
	項	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道施設課				
	目	下水道維持費			連絡先	(078)934-3425				
	事業	西岡ポンプ場維持事業			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度		
施策分野		5 都市基盤整備分野			根拠法令・要綱等 下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
		5-6 下水道の整備								
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			実施方法		直営	○	補助・助成	その他
					委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	西岡ポンプ場集水区内905haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内18haの雨水。									
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）									
	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を二見浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。									

事業内容	① 圧送汚水量 : 日平均 平成23年度 18,877m ³ 平成24年度 18,259m ³ 平成25年度見込み 18,500m ³ ② 雨水排除量 : 日平均 平成23年度 2,404m ³ 平成24年度 1,300m ³ 平成25年度見込み 1,700m ³ ③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回) 消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回) ④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。									
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	35,184	26,145	61,329	0	0	40,201	21,128	正規	2.49	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	45,526	23,805	69,331	0	0	45,526	23,805	再任用	0.50	その他	0.00
24決算	24,799	23,805	48,604	0	0	27,045	21,559	任期付	0.11	合計	3.10
25当初予算	33,662	22,653	56,315	0	0	33,662	22,653				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		処理施設修繕(緊急)、電気料金等		13,957	需用費	
役務費		火災保険料等	39	役務費		火災保険料等	42
委託料		計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	3,190	委託料		計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	4,195
工事請負費		機械電気定期保全	7,613	工事請負費		機械電気定期保全	13,000
合計			24,799	合計			33,662

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-011	事務事業名	西岡ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	汚水量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	8.9	7.3	8.5
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	811	779	850
指標で表せない成果						
西岡ポンプ場は指標にも記した汚水の圧送に加え、雨水の排除も重要な役割である。近隣住民の安全安心の確保にも重要な役割を持つ。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		処理場整備一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 012		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道終末処理場建設事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度		
	事業	処理場整備一般管理事務事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						
事業の目的	対象（誰を・何を）							
	下水道施設課事務事業							
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）							
	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。							
事業内容	設計、積算、施工管理に要する一般管理事務を行う。							
	①研修旅費 ②設計歩掛、積算資料、専門書、作業服、コピー用紙購入 ③設計書印刷製本 ④現場移動用燃料費 ⑤地元対策 ⑥通信費 ⑦車両保険 ⑧コピー機リース料等 ⑨積算システムリース料の負担金、研修負担金 ⑩自動車重量税							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	4,646	3,915	8,561	2,368	2,502	8	3,683	正規	0.42	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	4,889	3,915	8,804	0	0	0	8,804	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	4,276	3,915	8,191	2,220	2,166	101	3,704	任期付	0.05	合計	0.47
25当初予算	4,646	3,616	8,262	0	0	0	8,262				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修旅費等	408		408	旅費	研修旅費等
需用費	事務用品費、本代等	2,534	2,534	需用費	事務用品費、本代等	2,348	
役務費	郵便料、損害共済分担金等	45	45	役務費	郵便料、損害共済分担金等	105	
使用料及び賃借料	コピー使用料等	180	180	使用料及び賃借料	コピー使用料等	556	
負担金補助及び交付金	積算システムリース料の負担金等	1,102	1,102	負担金補助及び交付金	積算システムリース料の負担金等	1,160	
公課費	自動車重量税	7	7	公課費	自動車重量税	7	
合計			4,276	合計			4,646

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-012	事務事業名	処理場整備一般管理事務事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	執行率	事務費用は積算資料の購入など、固定費が主なため、執行率が低ければ消耗品等の支出を抑制していることとなる。	%	90	90	90
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も必要最小限の一般管理事務費用にとどめる。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧浄化センター整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 013			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費			連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道終末処理場建設事業費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 57 年度		
	事業	朝霧浄化センター整備事業			根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』									

事業の目的	対象（誰を・何を）	朝霧浄化センター及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。

事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成23年 受変電設備改築実施設計 平成24年 受変電設備電気工事
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成23年 長寿命化計画書提出 平成25年 送風機設備長寿命化工事(予定) 長寿命化計画策定業務委託(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	3,643	3,915	7,558	1,857	1,962	6	3,733	正規	0.45	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	162,598	3,915	166,513	86,300	76,200	0	4,013	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	194,225	3,915	198,140	100,849	98,369	4,596	-5,674	任期付	0.05	合計	0.50
25当初予算	143,000	3,865	146,865	68,550	73,250	0	5,065				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	朝霧浄化センター送風機設備実施設計委託	2,625		委託料	朝霧浄化センター長寿命化計画策定業務委託ほか	5,800
	工事請負費	朝霧浄化センター受変電設備ほか工事ほか	191,600		工事請負費	朝霧浄化センター送風機設備機械工事	137,200
	合計		194,225		合計	143,000	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-013	事務事業名	朝霧浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	14	10
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名 船上浄化センター整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 014				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道終末処理場建設事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度			
	事業	船上浄化センター整備事業	根拠法令・要綱等		下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法		直営	○	補助・助成	その他	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	委託	指定管理					
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	船上浄化センター及び附属施設。								
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。								
		①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成23年 送風機設備改築 管理棟ほか耐震補強実施設計 平成24年 送風機設備改築電気工事 平成25年 送風機設備改築電気工事(予定)							
		②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成23年 長寿命化計画書提出 平成24年 送風機設備長寿命化機械工事 平成25年 送風機設備長寿命化機械工事(予定) 長寿命化計画策定業務委託(予定)							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	155,544	0	155,544	79,272	83,765	257	-7,750	正規	0.45	アハハ	0.00
24当初予算	36,000	3,915	39,915	19,800	16,200	0	3,915	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	55,080	3,915	58,995	28,599	27,896	1,303	1,197	任期付	0.05	合計	0.50
25当初予算	67,548	3,865	71,413	32,300	33,950	0	5,163				
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額		
	工事請負費	船上浄化センター建築工事ほか		55,080		旅費	工事立会検査		98		
						委託料	船上浄化センター長寿命化計画策定業務委託ほか		31,450		
						工事請負費	船上浄化センター送風機設備機械工事ほか		36,000		
合計				55,080	合計				67,548		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-014	事務事業名	船上浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	29	17	14
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	33	100	100
指標で表せない成果						
夜間休日の監視業務を委託し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保浄化センター整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 015		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道終末処理場建設事業費					
	事業	大久保浄化センター整備事業					
事業所管課		下水道部下水道施設課					
連絡先		(078)934-3425					
自治/法定		自治事務	開始年度	平成 8 年度			
根拠法令・要綱等		下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等					
実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	大久保浄化センター及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。

事業内容	①下水道普及にともなう処理施設の拡張を行う。 平成23年 雨水情報に関する監視制御設備増設
	②老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成23年 配管廊施設耐震継手4箇所改修 汚水沈砂池設備改築 中央管理室ほか空気調和設備改築 汚泥脱水設備ほか改築実施設計 平成24年 脱水機設備改築 場内配管人孔補強工事 平成25年 汚泥処理返流水管土木工事(予定) 流入渠防食工事(予定) 広域監視設備調査計画策定業務委託(予定)
	③施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成23年 長寿命化計画書提出 平成25年 長寿命化計画策定業務委託(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	425,696	3,915	429,611	216,953	229,250	705	-17,297				
24当初予算	575,896	3,915	579,811	315,150	260,500	0	4,161	正規	0.45	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	395,030	3,915	398,945	205,114	200,071	9,348	-15,588	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	58,600	3,865	62,465	17,500	39,900	0	5,065	任期付	0.05	合計	0.50

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	大久保浄化センター汚泥脱水設備機械工事ほか	395,030		委託料	大久保浄化センター長寿命化計画策定業務委託ほか	28,800
					工事請負費	大久保浄化センター返流水管土木工事ほか	29,800
合計			395,030	合計			58,600

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-015	事務事業名	大久保浄化センター整備事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	28	43	50
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。 ・唯一の高度処理施設であり、各種見学や市民開放施設を通して、下水道の普及啓発に貢献する。 						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見浄化センター整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 016			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費			連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道終末処理場建設事業費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度		
	事業	二見浄化センター整備事業			根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』									

事業の目的	対象（誰を・何を）	二見浄化センター及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。

事業内容	①処理施設の機能増強を行う。 平成23年 汚泥焼却炉設備実施設計委託 平成24年 汚泥焼却設備工事
	②老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成23年 汚泥脱水設備改築 中央監視制御設備改築実施設計 平成24年 計装設備改築電気工事
	③施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成23年 長寿命化計画書提出 平成25年 エアレーション設備機械電気工事(予定) 長寿命化計画策定業務委託(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	16,937	3,915	20,852	8,631	9,121	28	3,072	正規	0.45	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	10,000	3,915	13,915	5,500	4,500	0	3,915	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	153,017	3,915	156,932	79,452	77,498	3,621	-3,639	任期付	0.05	合計	0.50
25当初予算	131,696	3,865	135,561	61,900	68,400	0	5,261				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	二見浄化センター汚泥焼却設備工事ほか	153,017			旅費	工事立会検査
				委託料	二見浄化センター長寿命化計画策定業務委託ほか	32,250	
				工事請負費	二見浄化センターエアレーション設備機械工事ほか	99,250	
	合計		153,017		合計	131,696	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-016	事務事業名	二見浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	20	25	14
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 017		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度		
	事業	朝霧ポンプ場整備事業	根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業 の 目的	対象（誰を・何を）									
	朝霧ポンプ場及び付属設備									
事業 内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。									
①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年 耐震化中長期計画策定業務委託(予定)										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.04	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.04
25当初予算	400	332	732	0	0	0	732				

24 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	25 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
							委託料
	合計		0		合計		400

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-017	事務事業名	朝霧ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	林ポンプ場整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 018		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 59 年度	
	事業	林ポンプ場整備事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等			
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	林ポンプ場及び付属設備
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。
事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年 耐震化中長期計画策定業務委託(予定)	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.04	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00	
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00	
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.04	
25当初予算	400	332	732	0	0	0	732					
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額					
					委託料	林ポンプ場下水道施設耐震化 中長期計画策定業務委託	400					
	合計		0		合計		400					

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-018	事務事業名	林ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	50	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		藤江ポンプ場整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 019		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 9 年度		
	事業	藤江ポンプ場整備事業	根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	藤江ポンプ場及び付属設備
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。
事業 内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年 耐震化中長期計画策定業務委託(予定)	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他		
23決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0.00	0.00	0.00
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
25当初予算	400	332	732	0	0	0	732	0	0	0.00	0.00	0.00	0.04

24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
					委託料	藤江ポンプ場下水道施設耐震化中長期計画策定業務委託	400
	合計		0		合計		400

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-019	事務事業名	藤江ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	指標で表せない成果					
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		谷八木ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 020		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業		事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度		
	事業	谷八木ポンプ場整備事業		根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業の目的	対象（誰を・何を） 谷八木ポンプ場及び付属設備								
	意図（どういう状態にしたいのか） 処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。								
事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年 耐震化中長期計画策定業務委託(予定)								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.04	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.04
25当初予算	400	332	732	0	0	0	732				
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額		
						委託料	谷八木ポンプ場下水道施設耐震化中長期計画策定業務委託		400		
	合計			0		合計			400		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-020	事務事業名	谷八木ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-021	事務事業名	江井島ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	50	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
	指標で表せない成果					
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-022	事務事業名	西岡ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	50	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長年に渡り運用できる計画とする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	下水道計画事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費	事業所管課	下水道部下水道建設課			
	目	下水道整備費	連絡先	(078)918-5051			
	事業	下水道計画事務事業	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託			指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市公共下水道
	意図（どういう状態にしたいのか）	安定した機能維持とともに、新たに直面する課題に柔軟かつ的確に対応するため下水道計画を策定する。
事業内容	①下水道建設計画の立案 ②下水道の調査および研究 ③開発事業協議における下水道計画の指導および近隣市町との調整	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	28	17,190	17,218	0	20	0	17,198	正規	3.80	パート	0.00
24当初予算	100	13,380	13,480	0	0	100	13,380	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	3,973	13,380	17,353	0	2,575	152	14,626	任期付	0.20	合計	4.00
25当初予算	100	32,060	32,160	0	0	100	32,060				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	35		旅費	近接地旅費等	100
委託料	明石市地震対策計画策定業務委託	3,938					
	合計		3,973		合計		100

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-001	事務事業名	下水道計画事務事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	開発事業協議受付件数	1年間に受け付けた開発事業協議の件数	件	105	79	100
	指標で表せない成果					
全体計画の策定、事業認可取得、重要事業の計画立案・庁内調整等						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
持続可能な下水道を維持し続けるため、より効率的・効果的な事業推進を図るとともに、より計画的かつ積極的な計画事務を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		管渠整備一般管理事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 002		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道建設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)918-5051				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	管渠整備一般管理事務事業		根拠法令 ・要綱等	都市計画法・下水道法				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	明石市公共下水道事業								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	計画的かつ円滑に推進する								
事業 内容	下水道管渠整備一般事務に要する経費								
	<ul style="list-style-type: none"> ○研修旅費および研修負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・全国建設研修センター(東京都) ・下水道事業団研修(埼玉県) ○積算関係図書および積算システム負担金 ○事務用品および下水道専門書など 								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	7,611	26,210	33,821	0	5,423	83	28,315	正規	1.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	10,081	32,060	42,141	0	0	10,081	32,060	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	5,881	32,060	37,941	0	3,812	224	33,905	任期付	0.80	合計	1.80
25当初予算	9,882	10,380	20,262	0	0	9,882	10,380				

24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	研修旅費、近接地旅費		393		旅費
	需用費	事務用品、各種機器点検ほか	1,630		需用費	事務用品、各種機器点検ほか	4,176
	役務費	郵便料等	77		役務費	郵便料等	696
	使用料及び賃借料	コピー機借上料ほか	642		使用料及び賃借料	コピー機借上料ほか	1,300
	備品購入費	デジタルカメラ、図書ほか	121		備品購入費	図書ほか	60
	負担金補助及び交付金	講習会等出席負担金および積算システムほか	3,018		負担金補助及び交付金	講習会等出席負担金および積算システムほか	3,150
	合計		5,881		合計		9,882

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-002	事務事業名	管渠整備一般管理事務事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
事務の円滑な執行						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き、より計画的かつ積極的な下水道事業を行うとともに、効率的・効果的な事業展開を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-003	事務事業名	朝霧処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.2	99.3	99.3
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.1	48.3	48.5
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 004				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費							
	項	公共下水道建設費							
	目	下水道整備費							
	事業	船上処理区管渠整備事業							
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道建設課					
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)918-5051					
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法					
			実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
				委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備
	意図（どういう状態にしたいのか）	○生活環境の改善、浸水被害の軽減 ○公共用水域の水質保全

事業内容	①浸水対策事業及び管渠改築事業の実施(補償費については、管渠整備事業及び管渠更生事業を併せ、船上処理区一括で計上)	
	H23 (工事)	貴崎5丁目ほか雨水管布設工事(φ 1,000~450、L=162.7m) ほか (委託) 松江2号雨水幹線(その2)実施設計委託 ほか
	H24 (工事)	松江2号雨水幹線布設工事(φ 1,350、L=156.2m) ほか (委託) 船上第3・4号雨水幹線実施設計委託 ほか
	H25 (補償)	ガス管等移設工事

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	137,984	16,150	154,134	39,891	98,314	5,035	10,894	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	177,810	0	177,810	59,036	115,254	11,407	-7,887	任期付	0.00	合計	1.65
25当初予算	15,000	13,695	28,695	0	15,000	0	13,695				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	船上第3・4号雨水幹線実施設計委託ほか	20,560			補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用
工事請負費	松江第2号雨水幹線布設工事ほか	155,030					
補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	2,220					
	合計		177,810		合計	15,000	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-004	事務事業名	船上処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.2	99.3	99.3
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.1	48.3	48.5
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)918-5051			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	大久保処理区管渠整備事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備
	意図（どういう状態にしたいのか）	○生活環境の改善、浸水被害の軽減 ○公共用水域の水質保全
	事業内容	①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 H23（工事）大窪高岡管布設工事（φ 200、L=280.9m）ほか （委託）大窪田上ほか汚水管実施設計委託 ほか H24（工事）谷八木砂川（2工区）ほか管布設工事（φ 200、L=86.0m）ほか H25（工事）貴崎1丁目ほか管布設工事（φ 350～φ 250、L=100m）ほか（予定） （委託）松陰山手土地区画整理事業地内汚水管実施設計委託 ほか（予定） ②浸水対策事業の実施 H23（工事）谷八木堂ヶ保雨水管布設工事（□600×600・φ 300、L=29.5m）ほか （委託）藤江川雨水幹線用地測量業務委託 ほか H24（工事）福田宮ノ浦雨水管布設工事（φ 1,100、L=114.1m）ほか H25（工事）金ヶ崎巳ノ池ほか雨水管布設工事（□2,000×1,000、L=150m）（予定）

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	364,393	16,150	380,543	105,345	259,630	13,300	2,268	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	532,700	21,420	554,120	188,500	344,200	0	21,420	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	272,049	21,420	293,469	90,325	176,338	17,453	9,353	任期付	0.00	合計	1.65
25当初予算	362,900	13,695	376,595	133,750	229,150	0	13,695				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	工事請負費	福田宮ノ浦雨水管布設工事ほか	264,945			委託料	松陰山手土地区画整理事業地内汚水管実施設計委託ほか
公有財産購入費	藤江川浸水対策に係る用地買収	381		工事請負費	金ヶ崎巳ノ池ほか雨水管布設工事ほか	132,300	
補償補填及び賠償金	物件移転補償、ガス管などの移設費用	6,723		公有財産購入費	藤江川浸水対策に係る用地買収	59,000	
				補償補填及び賠償金	物件移転補償、ガス管などの移設費用	162,000	
	合計		272,049		合計		362,900

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-005	事務事業名	大久保処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.2	99.3	99.3
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.1	48.3	48.5
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 006		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道整備費					
	事業	二見処理区管渠整備事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業所管課	下水道部下水道建設課				
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)918-5051			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	自治/法定		自治事務	開始年度	不明	
			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備
	意図（どういう状態にしたいのか）	○生活環境の改善、浸水被害の軽減 ○公共用水域の水質保全

事業内容	①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 H23（工事）江井島北池下ほか支管工事(φ 200、L=154.1m) ほか （委託）長坂寺区画整理内汚水管実施設計委託 H24（工事）長坂寺区画整理内ほか管布設工事(φ 200、L=407.8m) ほか （委託）西岡川西第1踏切道軌道下管布設工事委託 H25（工事）西岡梶ヶ元ほか管布設工事(φ 200、L=300m) ほか(予定) （委託）山陽電鉄西二見駅北側汚水管実施設計委託 ほか(予定)
	②浸水対策事業の実施 H23（工事）瀬戸第2号雨水幹線(池ノ内工区)布設工事(φ 2,000、L=184.4m) ほか （委託）瀬戸第3号雨水幹線水路用地測量業務委託 ほか H24（工事）瀬戸第3号雨水幹線(大坪工区)布設工事(□3,000×2,100・□2,200×2,100・□2,000×2,400、L=156.5m) ほか （委託）瀬戸第3号雨水幹線(その3)実施設計委託 ほか H25（工事）瀬戸第3号雨水幹線(戌ノ方谷工区)布設工事(φ 2,000、L=400m)(予定) （委託）清水若宮ノ下ほか雨水管実施設計委託 ほか(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	467,725	16,150	483,875	135,218	333,254	17,072	-1,669	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	377,200	16,380	393,580	115,000	262,200	0	16,380	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	507,214	16,380	523,594	168,405	328,768	32,541	-6,120	任期付	0.00	合計	1.65
25当初予算	278,500	13,695	292,195	113,000	165,500	0	13,695				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	西岡川西第1踏切道軌道下管布設工事委託ほか	38,284		委託料	清水若宮ノ下ほか雨水管実施設計委託ほか	13,200
工事請負費	瀬戸第3号雨水幹線(大坪工区)布設工事ほか	411,516	工事請負費	瀬戸第3号雨水幹線(戌ノ方谷工区)布設工事ほか	250,300		
補償補填及び賠償金	ガス管、水道管などの移設費用	57,414	補償補填及び賠償金	ガス管、水道管などの移設費用	15,000		
	合計	507,214	合計	278,500			

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-006	事務事業名	二見処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.2	99.3	99.3
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.1	48.3	48.5
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧処理区管渠更生事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 007		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費			連絡先	(078)918-5051			
	目	下水道整備費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	朝霧処理区管渠更生事業			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野		5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
		5-6 下水道の整備				委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	朝霧処理区における老朽化している既設管路施設の改築、修繕									
	意図（どういう状態にしたいのか）									
	既設管路施設の円滑な流下能力の確保及び、道路陥没事故防止の安全確保に努める。									

事業内容	①老朽化している管渠を撤去し新しい管渠を布設、もしくは管渠の更生工事を実施する。 H23（委託）大蔵谷奥ほか地内管渠調査業務委託 H24（工事）松が丘地内取付管布設替工事 H25（工事）松が丘地内取付管布設替工事（予定） （委託）松が丘地区管渠施設改築実施設計委託（予定）									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	21,315	9,775	31,090	6,162	15,187	778	8,963	正規	1.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	10,875	0	10,875	3,611	7,049	698	-483	任期付	0.00	合計	1.40
25当初予算	21,900	11,620	33,520	500	21,190	0	11,830				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	工事請負費	松が丘地内取付管布設替工事	10,875		委託料	松が丘地区管渠施設改築実施設計委託	3,000
					工事請負費	松が丘地内取付管布設替工事	18,900
	合計		10,875		合計		21,900

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-007	事務事業名	朝霧処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.7	2.8	2.1
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	327	275	268
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-008	事務事業名	船上処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.7	2.8	2.1
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	327	275	268
指標で表せない成果						
老朽化している既存下水道施設の計画的な改築更新により、下水道施設に起因した大規模な陥没事故は防止できている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-009	事務事業名	二見処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.7	2.8	2.1
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	327	275	268
指標で表せない成果						
老朽化している既存下水道施設の計画的な改築更新により、下水道施設に起因した大規模な陥没事故は防止できている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保処理区管渠更生事業			新規/継続	H24休廃止	整理番号	0165004000 - 010		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費			連絡先	(078)918-5051			
	目	下水道整備費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	大久保処理区管渠更生事業			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）	大久保処理区における老朽化している既設管路施設の改築、修繕		
	意図（どういう状態にしたいのか）	既設管路施設の円滑な流下能力の確保と施設の長寿命化及び、道路陥没事故防止の安全確保に努める。		

事業内容	①老朽化している管渠を撤去し新しい管渠を布設、もしくは管渠の更生工事を実施する。 H23（工事）鳥羽二本松管渠工事(φ 300~200、L=93.4m) （委託） 浸入水調査改築検討業務委託			
	②耐用年数(30年)が過ぎているマンホール蓋を取り替える。 H23（工事）高丘(2工区)人孔蓋取替え工事 ほか H24（工事）高丘(4工区)人孔蓋取替え工事 ほか			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
23決算	37,524	9,775	47,299	10,848	26,736	1,370	8,345	正規		ｱﾊﾞｲﾄ
24当初予算	4,500	13,860	18,360	0	4,500	0	13,860	再任用		その他
24決算	35,367	18,060	53,427	11,743	22,924	2,270	16,490	任期付		合計
25当初予算										

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	高丘(4工区)人孔蓋取替え工事 ほか	35,367				
	合計		35,367		合計		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-010	事務事業名	大久保処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.7	2.8	/
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	327	275	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
平成25年度については休止					
現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成25年度については休止					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。